

## 令和5年第2回 湖南省臨時教育委員会会議録

1. 開催日時 令和5年8月22日（火） 午後3時00分から午後4時09分まで

2. 開催場所 湖南省役所西庁舎 2階 教育委員会室

3. 会議に出席した委員

松 浦 加代子  
伊 藤 真 昭  
岩 城 見 一  
古 川 美智子  
平 松 彩

4. 会議に欠席した委員

なし

5. 会議に出席した事務局職員

4名

6. 会議を傍聴した人

2名

7. 会議案件

日程第1 議案第34号

令和6年度使用教科用図書の採択について

日程第2 協議事項

(1) その他

会議の開会 午後3時00分

事務局

令和5年第2回湖南省臨時教育委員会を開催させていただきます。  
本日の議案につきましては、令和6年度使用教科用図書の採択についての1件でございます。教育委員の皆様事前に御渡ししている次第は議案第33号になっておりますので、議案第34号に訂正したものを机の上に置かせていただいております。よろしくお願いいたします。  
それでは議事に進みます。教育長、よろしくお願いいたします。

教育長

傍聴の方、ご苦労さまでございます。ありがとうございます。

本日は来年度の使用教科用図書の採択ということで、教育委員の皆様にも事前にご覧いただき、先日も大変丁寧に学習会を行い、活発にご意見を頂きました。7月31日、8月3日に第二採択地区の協議会が開かれ、そこで選定をされた教科書を聞いてきております。本日はそのことについて採択するという事の会議でございますので、よろしくお願ひします。

では最初に、事務局のほうから協議会での選定の内容報告をお願いいたします。

事務局

公立の各小中学校で使用する教科用図書の採択については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の規定により、採択地区協議会が設置され、この協議会で行われた教科用図書選定の結果に基づき、各市町教育委員会で年度ごとに採択することになっております。

15ページから16ページをお開きください。

本市が所属する教科用図書第二採択地区協議会の規程を載せております。この教科用図書第二採択地区協議会は、草津市、栗東市、守山市、野洲市、湖南市、甲賀市の6市で構成されており、それぞれの教育長、教育委員代表、保護者代表を委員とする協議会です。この協議会において、第二採択地区内の各市立小中学校で使用する教科用図書が選定されます。

17ページが本年度の協議会委員の皆様です。

次に、本日議決を求めること、並びに第二採択地区での教科用図書選定までの経緯と結果については18ページとなっております。

本年度は小学校用教科書全教科の採択替えの年であり、さらに小中学校「特別支援学級一般図書」の採択替えを行います。現在までに協議会を3回、代表協議会を1回、幹事会を3回開催しました。あわせて、5月29日から7月10日にかけて、各市より選出した委員による調査委員会を開催し、厳正かつ精密な調査を行いました。

7月31日と8月3日の協議会では委員長より調査報告を受け選定し、8月3日には第二採択地区としての議決を行いました。

小学校は、1ページから2ページが通常学級で使用するものの一覧と理由です。

3ページから7ページは特別支援学級で使用する一覧です。特別支援学級で使用するものについては、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学省著作本と検定本以外にも絵本などの一般図書からも選定することができます。

3ページをご覧ください。

知的障害学級用については、社会科において「はじめての日本のれきしえほん」、外国語においては、4ページになりますが、「CDつき楽しく歌える英語のうた」の2冊が新たに選定されました。

続いて中学校は、8ページから9ページが通常学級で使用するものの一覧と理由です。

中学校特別支援学級の一覧は10ページから14ページになります。

10ページをご覧ください。

社会において、「楽しく学んで力がつく！こども世界地図」、「はじめての日本のれきしえほん」、理科においては「科学のなぜ？新図鑑」の3冊が新たに選定されました。

なお、弱視学級につきましては、小中学校とも通常学級で採択された教科用図書の拡大版と、文部科学省著作本であります点字版の教科用図書を選定しています。

続いて、協議会において調査委員長より報告されました調査結果の概要についてご説明します。

先日は、各社、各種目の教科書を事前にご覧いただき、大変丁寧に学習会を進めていただきましたこと、感謝申し上げます。

それでは、資料2ページをご覧ください。

小学校全種目13種目ございますので、初めに各種目の教科用図書選定理由を読ませていただきます。

まず、国語です。

選定図書は光村図書出版です。選定理由は、単元指導における学習活動が明確であり、年間指導の中でも当該学年の系統立てた学びを明示してある。また、全学年で学んだことを再度掲示することで、発達段階や児童の実態を考慮しながら言葉を敏感に、また柔軟に捉えさせようとしている。育成を目指す資質、能力を核とした言語活動が設定、児童の主体性を促すような学習活動が例示されている。

続いて、書写です。

選定図書は光村図書出版です。選定理由は、1ページの手本数が厳選され、学習テーマにじっくり向かい合いながら狙いを焦点化した学習が展開できる工夫をしている。各学年で「ねらい」や「たいせつ」、3年生以上で「学習の進め方」が示されており、見通しを持って児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。単元の導入で、文字を比較して課題意識を持たせることも特徴である。

続いて社会です。

選定図書は日本文教出版です。選定理由は、全学年教科書が合冊になっているため、社会的事象の相互の関連、意味を多角的に考える力の育成

に向いている。写真やイラストの印刷については鮮明で読み取りやすく、児童の興味、関心を高めることができる。江戸時代の身分ごとの円グラフでは、百姓や町人からも差別された人々と明記されている。また、明治時代の解放令という用語が唯一用いられている。

次に地図です。

選定図書は帝国書院です。選定理由は、地図活用の技能を生かせるように、地図の概念から方位や地図記号、索引などの地図の使い方まで、巻頭14ページにわたりスモールステップで丁寧に解説し、地図を活用する力を身につけられるようになっていきます。地形の様子が捉えやすくなるように、土地の高さによる色分けにより立体感のあふれる地図となっている。

続いて算数です。選定図書は大日本図書です。

選定理由は、基礎的、基本的な知識及び技能を身につけられるように、十分な練習量の問題が掲載されている。また、計算の型違いの問題などが水色の問題番号で示されているため、個々の習熟に合わせて取り組める。まとめや公式、性質を説明する言葉が詳しく丁寧に書かれていたり、数学的な見方、考え方が「ひらめきアイテム」で意識できるようになっている。

次に理科です。選定図書は東京書籍です。

選定理由は、児童の疑問、気づいたこと、考えたことを交流する場面で発表や話し合いを促しており、学習中の気づきを基にした児童の意見や考えの交流が深まるように工夫されている。フォント、カラーともにユニバーサルデザインの視点から配慮がなされており、全体的に文字が大きく読みやすくなっている。また、サイズはA4判と少し大きいながらも軽量化されており使いやすい。

次に生活です。選定図書は東京書籍です。

選定理由は、学びが家庭で生かされるような家庭での会話がイラストで示され、実生活での行動を促している。「見つける」に関わる具体的な活動場面の写真や、それに伴う吹き出しが多く示され、「比べる」ための視点が観察記録例に掲載されており、比較することを誘いかける言葉も多い。文字や絵、言葉による表現のバリエーションが多く、多様な表現活動に生かせる。

続いて音楽です。選定図書は教育芸術社です。

選定理由は、発達段階に応じた無理のない音域や歌詞の内容に配慮された教材であり、「共通事項」は特化することなく、表現及び鑑賞の活動と一体となっており適切に扱われている。全学年において、歌唱、器楽で扱う楽曲は四分音符、四分休符、八分音符、八分休符が中心に扱われており、表現の技能を高めるのに適している。

なお、協議会選定後に教育芸術社より、4年生の楽曲のうち1曲、『ジッパディードゥーダー』を『鉄腕アトム』に差し替えるとの連絡がありました。理由としましては、原出版社から掲載許可が下りなかったとのことでした。

すぐに事務局より調査委員長へ連絡を行い、報告された調査結果に影響がないことは確認済みです。このことに関しましては、6市の幹事会にて確認済みであることを申し添えます。

次に図画工作です。選定図書は日本文教出版です。

選定理由は、構成がすっきりしていて、児童にとって説明が分かりやすく見やすい。児童の制作過程や試行錯誤の写真が多くあり、吹き出しなどで思考の部分を取り上げている。身近なものから見方を広げられる工夫がある。そのため、児童が表したいことについて発想や構想するヒントになっている。

続いて家庭です。選定図書は開隆堂です。

選定理由は、基礎的な技能の習得に関わる内容について、製作や調理の手順が横一列に写真やイラストで提示されていたり文字や色で強調されたりしているので、見通しを持って学習することができる。応用の調理例や作品例の掲載が豊富で、発展的な学習や家庭での実践に活用できる。

次に保健です。選定図書は東京書籍です。

選定理由は、家庭内等身近でできる運動が多く記載されており、児童が実生活に生かしやすい。将来の夢につながるためには運動が必要など、自分の生活や健康における運動の必要性に触れながら学習が展開されている。毎時間ごとに1ページにわたる資料にて、一目で学習課題がつかめる工夫がされている。例えば感染症の予防策をイラストを交えて順序立てているなど、一目で内容がわかりやすく理解が深まる。

続いて外国語です。選定図書は光村図書出版です。

選定理由は、各単元が段階的に言語活動を繰り返し、「話すこと(発表)」、「書くこと」につながる構成になっている。各単元の導入に学習内容が明示され、児童が見通しを持って学習に取り組むことができる。2年間を通して自分のこと→地域→日本→世界というように視野が広がっていく設定になっている。環境問題や防災教育など、現代的な諸課題について取り上げられている。

最後に道徳です。選定図書は日本文教出版です。

選定理由は、中心発問と「見つめよう生かそう」の2つの発問が書かれてあり、すっきりとした構成になっている。「ぐっと深める」では、話し合い活動の実践場面を写真で示されておりわかりやすい。挿絵が子どもの発達年齢に合っていて見やすく、読みやすくなっている。また、登

場人物が分かりやすく記載されている。QRコードに心情メーターがあり、心情の変化を動かせることでわかりやすく使いやすい。

13種目の選定理由は以上でございます。

続きまして、この13種目に加え、新たに一般図書より選定された小学校特別支援学級で使用する教科用図書を説明いたします。

129ページをご覧ください。

社会で選定された、パイインターナショナルの「はじめての日本のれきしえほん」の選定理由は、家、服、食べ物、暮らしなど、児童の生活と比べて考えやすい内容が絵で描かれていて、初めて歴史を学ぶに当たってそれぞれの時代がイメージしやすい構成となっている。時代ごとに特徴的な道具や人々の暮らしなどについての解説も拡大した絵と簡単な言葉で示されており、興味を持って学習に取り組むことができる工夫が見られる。時代の変化による人々の暮らしの変化が一目で分かるようになっており、児童が楽しく学べる図書である。

次に、外国語で選定された成美堂出版、CD付「楽しく歌える英語の歌」の選定理由は、知的学級で外語を学ぶに当たっては視覚や聴覚、身体全体を使って楽しく学ぶことが大切であると考えます。また、CD付で音楽のリズムに合わせて踊ったり楽しく歌ったりしながら、自然に外国語を身につけていく指導が有効であると考えます。

次に、中学校特別支援学級で新たに使用するために選定されました一般図書3冊について選定理由を説明します。

147ページをご覧ください。

まず社会です。永岡書店、「楽しく学んで力がつく！こども世界地図」の選定理由です。この図書は単なる地図帳とは違い、世界を地球という視点からまとめていて、幅広い知識がテーマ別に掲載されている。写真が多く、国別の特徴が端的にまとめられているので、異なる発達年齢の子どもたちが学べる充実の内容になっている。子どもたちが興味を持ちそうな話題が盛り込まれており、生徒の好奇心をかき立てる内容となっている。

次に、パイインターナショナルの「はじめての日本れきしえほん」の選定理由です。この図書は、日本の歴史の移り変わりをイラストと短い文章で表したものである。歴史の大きな流れをつかみ現代の生活につなげたり、未来について考えを巡らせたりするのにふさわしい内容となっている。歴史という抽象的な内容の学習をイラストで具体的に分かりやすく表現しているため、特別支援学級の生徒が学ぶのに効果的であると思われる。

続いて理科です。増進堂、「科学のなぜ？新図鑑」の選定理由です。この図書は、生徒が興味を持った「なぜ」を核としながら、知りたい項

目を基に、5つの分野から発達や理解度に応じて読み進めることができる構成となっている。また、図や写真を多く使って科学の大切な知識や考え方が一目でわかりやすいものとなっている。身近に感じた疑問を理科的視点につなげていくことに効果的である。

以上、教科用図書第二採択地区協議会における全ての種目の調査結果について説明を申し上げます。ご審議をよろしくお願いいたします。

教育長

ご報告ありがとうございました。

それでは、1教科ずつ採択していこうかなと思いますが、よろしいでしょうか。

まず最初に国語です。国語につきましては光村図書出版ということで、湖南省の意見とも一致しているかなと思いますが、採択してよろしいでしょうか。

教科書会社が変わる、湖南省の意見と違っているところについてはお話をさせていただきたいと思います。

それでは次に、書写ですが、こちらも今の教科書と変わりなく光村図書出版です。私は日本文教がいいのではないかなと思っていたのですが、光村図書出版も2番には挙げておりましたので、迷うところではありませんでした。

そして、教材の扱いについて全般的なことですが、ほかの教科も含めて教科書をどう扱うか、というところは注意が必要であるという共通理解をしております。書写につきましては、光村図書出版ということで採択をさせていただいてよろしいでしょうか。

委員

少し気になるのですが、調査委員のほうでは、そのようなことは議論されていましたか。

教育長

書写につきましては、ございませんでした。

委員

やはり今後、教える段階で、各先生方にその辺は注意してもらう必要があります。

教育長

次は、社会科でございますが、社会科は日本文教出版ということで、こちらについては委員のほうから意見を述べていただきました。

委員

湖南省の教育委員会のときにも申し上げたことですが、歴史家の意見が、コラム的なことではあったのですが、どこかに導くような内容が、ややもすればそういう使い方がされるデリケートな歴史な分野で、まだ

研究が定まっていなかったことに対しても歴史研究家の一意見として出されていることに少し違和感を覚えたので、そのことについては意見を申し上げました。ただ、文教出版、滋賀県のことをたくさん取り上げられているので全く駄目だということではありませんが、「使うときには注意をしてください」ということは申し上げました。

教育長

このことについては調査委員長から、「確かにおっしゃる部分は懸念しなければいけない部分だというふうには考えている」とありました。実際に今生きておられ、過去の方の声ではないというところで、過去の方でしたら事実として掲載するべきものであると思いますが、「やはりいろいろな角度からいろいろな声があるという、これも教える側の意識というのか、そういうことはいろいろな考え方があるというスタンスでの指導が必要です」ということを調査委員長が報告してくれました。

そして、ほかの委員からの意見としても、社会科が分冊になっていますが、私たちからの感覚で言いますと、とても重たかったりします。ですが、今はいわゆる置き勉ですので、全部を持って帰りません。これも時代の流れといえますか、そういうところで、「重さの心配は要らないんです」ということを調査委員長からお聞きしました。これは前とは違うのだなと思って聞いていました。

委員

これは社会だけではなく全般的なことですが、ここでよく話題にしている、調査委員会では教科書の编者についてちゃんとした調査をしたのか、あるいはそれを無視して内容だけでいっているのか、その辺はどうですか。

教育長

これにつきましては、以前の幹事会でも確認をしてもらったのですが、编者のことについて調査をするとすると、やはり编者についての考えといますか、それも偏ってしまわないかというような懸念がありますので、やはり内容のところでは調査については調査をしますという、そういう結論でした。

委員

これに私自身は非常に懸念を抱いています。つまり内容自体は、编者のある種のイデオロギーが隠された形で出ますので、これまで编者がどういう研究をしているかということはきちんと調べた上で教科書の審査はすべきだと思います。

教育長

委員としてのご意見は伝えてありますので、そのことについては教科書の内容で調査をしようという結論でありました。

では、社会科ですけれども、日本文教出版ということで採択させていただいてよろしいでしょうか。

そして、地図でございます。地図につきましては帝国書院ということで、ここは協議会のほうでも特にご意見、ご質問といったことはございませんでした。

地図については帝国書院ということで採択をさせていただいてよろしいでしょうか。

次は、算数です。算数は大日本図書で変更なしですが、私は啓林館という意見を出しましたし、委員は教育出版ということでした。

委員 湖南省で違うのですね。

教育長 はい、違います。算数の5年生は特に量的にも、一応山が来ます。算数を教える者としては、プログラミングの関係などが難しくなってきたときに、その辺り「中学校のつながりはどうだろうか」という意見も出ていました。「大日本図書、はい、これが一番」という感じの意見ではありませんでした。各市、やはり迷いながらといいますか、「あえて変える理由はない」というようなことでした。ですので、特に大日本出版でという強い肯定というのか、悪くはないとはおっしゃいませんが、異議なしということでした。

ここは湖南省と、出ていた意見としては異なりますけれども、大日本図書を採択するというところでよろしいでしょうか。

委員 やらうと思えば、反対して、湖南省だけ違うのを使うこともできます。

教育長 私は、大日本図書は2番手だなとは思っていました。

それでは、理科に移りたいと思います。理科は、これまで啓林館でしたが、東京書籍に選定が変わっております。理科は、委員は東京書籍で一致という意見を頂いておりました。私からは代わりまして、「湖南省の学習会ではA Iに負けない思考力、理系へ進む可能性が広がりそうな問題をつかむ、それから調べる、まとめる意識を大切にしているというところで東京書籍という意見が出ていました」ということを伝えさせていただきました。

特に出版社が変わるにあたって、先ほど事務局からありましたが、やはりユニバーサルデザイン、特に理科は見せ方というところが東京書籍は優れているという、そこがポイントかなと思い、調査委員長の報告を聞いておりました。

委員 理科に関しては、これまでのと変化したわけですね。その場合、調査委員会が、これまで使われてきた教科書とこれから使おうとしている教科書との内容の変化はどのくらいあるかということはしっかり調べているかどうかというのは、1つ気になります。

教育長 特に啓林館と東京書籍にピンポイントを絞ったような見方もしているという報告はございました。啓林館の図書の作り方といいますか、教科書の作り方はいろいろな工夫ができるということは確かにありますが、理科に慣れていない先生が教科書を使うというときに、今の東京書籍のほうを使いやすいのではないかというような調査結果を伝えてくださいました。

委員 聞きたかったのは、今使っている教科書と、今度候補として出されている教科書との違いです。

教育長 今のやつと次のやつですね。

委員 そうです。調査委員会はこれを調べているのかな。

教育長 今の教科書次の教科書の比較という調査の仕方はしてないです。

委員 同じぐらいの内容であるのに、前の調査委員会が選んだものとは違ったものを選んだ場合には、それなりの理由が必要になってくると思います。その理由がしっかりと説明されたかどうか、というのを聞きたいです。前の調査委員はこうでしたが、我々の調査からすると東京書籍のほうがいいという、そういうふうな1つの説明理由がどうしても必要になってくると思います。

教育長 変えるにあたってはということですか。

委員 そうです。変えるにあたって、説明はなかったですか。

教育長 変えるということ自体に、「こういう理由で変える」ということの報告はありませんでした。今の教科書自体を調査して比べていますので、「変える理由はこれだ」というのは述べられてはいないです。

委員 前の調査委員会からすると、「何で変えたんや」という不満が起こる。ですので、それはある種の説得力のあるような変更理由というのは、調

査委員会はやはり示す必要があると思います。何故かといいますと、私も今度の教科書をほとんど全部調べましたが、前のものと内容的にあまり変わっていません。もしそれを変えるとすると、かなりそれなりの理由を持って、変える理由を調査委員は言わないといけないような気がします。

教育長

変えるにあたって、各市からの意見というのが理科はかなり出ています。東京書籍に変えるということに異議はありませんが、例えば守山市ですと「意見の考えを交流する学習活動を適切に取り入れているということがやはり優れている」、ピンポイントに比べて東京書籍が優れていますねと言っています。ですので、変えた理由というのはどこも明白にはしていません。ほかの市は「シンプルでわかりやすい」などでした。そのときの、教科書を見て比べてということです。

ですので、教科書を作ってくさっている会社のほうには「これとこれを比べてこっちだからこうなりました」ということははっきりと言わないといけないですね。

委員

そう思います。そこはしっかりとやっておかないと、何となく不明瞭なものと結びついて勘ぐられるおそれがあります。実際、前違うところで出版社に接待されたから変える、ということがありましたので、そういう疑いが出てきてしまいます。

教育長

このことについては課題として、やはり教科書会社を変えるにあたっては、もちろんそれが東京書籍のほうがいいというのは明白なのですが、では、前の教科書と比べて啓林館が、そのところがどう落ちたのか、あるいは同じなのか、あるいは東京書籍がとてよくなったのか。そのところ、変えた理由というのも調査の中には必要だということですか。

委員

必要だと思います。

教育長

調査委員会の中では、それは話をされていると思いますが、調査委員長からの報告についてそのことに触れてほしいということ、来年度、中学校の大規模採択がございしますので、そこに申し送りということでお伝えをしておきたいと思います。

委員

内容が大幅に変わっているのであれば、それは必要ありませんが、変わってない場合に出版社を変えるとときに、やはりそれなりの理由を言わないと問題が起こってきます。

教育長 わかりました。それでは、調査の報告の仕方というところで課題はあるのではないかとすることはお伝えすることにして、採択は東京書籍ということでご異議ございませんでしょうか。  
どうぞ。

委員 初歩的な質問なのですが、観点というのは毎年変わるものなのですか。

教育長 一応毎年検討はします。

委員 それに合わせた評価がこのAやBということですか。

教育長 はい、そうです。今回は前回と変わっていません。

委員 Aが多いところが1番ということになるのですね。

教育長 はい。  
それでは、理科は東京書籍ということで、次に生活科に移らせていただきます。  
生活科も同じく啓林館から東京書籍に変わっております。

委員 湖南省はどこでしたか。

教育長 私は啓林館で変える必要はないのではないかと考えておりました。委員も教育出版で、啓林館は2番目に出てきていますよね。ですので、東京書籍がよっぽどよかったという理由も、ここでは皆さんにお伝えする必要はあるかなと思います。  
事務局、生活が東京書籍だということを、先ほど報告してくれましたが、それに加えて何か東京書籍が選ばれた理由はありますか。

事務局 特には挙げられてなかったかなと思いますが、「低学年に根差した」というところが出ていたかなと思います。

教育長 根拠はないですが、啓林館から東京書籍に生活科も理科も変わっています。ということは、低学年でいうと生活科というところで、東京書籍がそこを工夫されたことがたくさんあったのかなと思います。大体生活科と理科というのは関連づけて同じような気がします。

委員 低学年は生活ですね。

教育長 そうです。生活のメモを探しています。  
資料62ページの東京書籍と64ページの啓林館を比べますと、恐らく甲乙つけ難かったのだらうなということは見てとれます。観点番号9のところ、1つだけ違います。多様性の尊重、人権尊重、世界平和、いじめ、環境等の現代的な諸課題について工夫、配慮がなされているかというところで、東京書籍がAで啓林館がBというところで、総合的に判断してというところであったとは思いますが。  
教科書を使う立場としますと、生活と理科で継続性があると、それはそれでありがたいかなというのがあります。

委員 教える側にしますと、同じ出版社の教科書でやったほうが、つながりようがつけやすいので、一方が選ばれたら他方は同じ出版社にするというのは考え方としては普通でしょうね。

教育長 たまたまこれも調査は別でやっておりますが、一致したということは、よっぽど東京書籍の教科書がよかったということかなと思います。

事務局 生活ですが、ご意見ということでほかの市から出ていたのは、「やっぱり小学校の低学年という部分で、教科書の大きさとかそういうところも選ぶのに重要な」ということ、そして「お世話の仕方とかが写真で載っていたりとか、すごく虫とかの様子もよくリアルに分かるような写真がとても載っている」ということ、「子どもたちがまだ知らないちょっとしたコツがイラストで書かれている」、そういったお話が出ていました。やはり低学年に則したということが非常にわかりやすいということで、こちらの教科書が選ばれていたということです。

教育長 ありがとうございます。そういったことで、生活科につきましても東京書籍を採択するというところでよろしいでしょうか。  
それでは、次に音楽科です。音楽科は教育芸術社ということで、甲乙つけ難いなという湖南市の判断ではございました。

事務局 決め手は資料71ページ、観点の2というところだったと思います。

教育長 ここのところ、観点2、思いや意図に合った音楽表現の技能を育む教材学習内容となっているかということで、特に教材についてよく見てくださったということは報告でございました。この点は湖南市としても異

議はないかなと思います。

音楽については教育芸術社ということで採択するという事でよろしいでしょうか。

次は図画工作科です。図画工作科については、これも甲乙つけ難いというところで、図画工作については、1人中学校の元美術の先生という先生がかなり熱心な意見を、そういうことかと思いながら聞いていた記憶がございます。

委員 前はどこの教科書でしたか。

教育長 同じです。変わりはありません。

委員 いろいろな教科書との比較もそんなに変わっていませんでしたので、新たに変える必要はないなと思っていました。

教育長 意見として出ていたのが、例えば、教科書の「体で鑑賞しよう」というところで、俵屋宗達の作品の前で同じようなポーズを取っている男の子と女の子。鑑賞の部分は大変充実しているなと思います。「単なるどういったポーズかではなく、体現していくというのか、そういったことが小学校の段階では非常に大事なのではないか」というようなご意見が出ていました。

委員 1つ、今の時代で漫画、アニメをどう扱うかということに関して結構大きな問題だと思いますが、調査委員会ではその点に関して調査するにあたって、どういうふうな配慮があったのか、そういうふうなことに關するコメントはなかったですか。

教育長 デジタルコンテンツやプラモデル作りなど、調査委員長の報告はもっと細かいもので、具体的に漫画やアニメという言葉を使っている報告はなかったです。

これについても変更なしということで、日本文教出版を採択するという事でよろしいでしょうか。

それでは次です。家庭科です。これも変更なしでしたが、家庭科は開隆堂ということで、委員は2番が開隆堂で、私は開隆堂が断然よいということをしていました。提示の仕方がとにかくわかりやすいですし、課題があって振り返りなども、主体的に学ぶ姿勢を求めているというのが開隆堂だなと思っていましたので、開隆堂で変化なしで、それでいいかなと思います。

では、家庭科については開隆堂ということで採択よろしいでしょうか。  
次は、保健です。保健につきましては変更があります。学研から東京書籍ということです。これにつきましては86ページから、東京書籍と大修館、そこが推されていました。委員は大修館も書いてくださっていましたが、東京書籍ということでした。東京書籍は、評価でいうと全てAがついております。

事務局

委員に意見を述べていただいていたところですよ。

教育長

はい。そして第二採択地区観点の部分でこのところが優れているということと、そして、委員から「大修館と僅差ですが、その理由は教えていただけたら」ということで質問を出していただいております。回答としては、「まず3社に絞ったと。その中に大修館と東京書籍が入っていたと。どの会社も本当に丁寧に作られていたけれども、少ない差で全部Aの東京書籍を選んだということで、何せ決め手は第二採択地区観点というところかな」というところでありました。

中でも、例えば学研ですと、「見るからにイラストの中で障がい者というのは1つもなかった気がするが、そういった点で教科書に対する視点がなかったのかな、学研はそこが弱いんじゃないか」というご意見がありました。東京書籍は、「決め手はそこや、違いはそこや」というところで、東京書籍を選んできております。今回、学研から東京書籍に変わったのは、そこの人権についての配慮というところで弱さが見られるようになったのではないかと、というような意見で変わってきたということでありました。

保健については、「学研は違うでしょう」というところで意見が一致しているかなと思いますので、東京書籍を採択するというところでよろしいでしょうか。

私は次が一番難しかったなと思っています。英語です。英語は東京書籍から光村図書出版に変わっております。光村図書出版を挙げているのは、私も委員も3番手なのです。悪くはないですが、トップでもないというところで、どうやって決められたかということですが、光村図書出版は軒並み全てのところで、東京書籍から変わっています。その理由が、まずここかと思ったのは9番です。デジタル教科書や、そういうところで今回少し差がついたのかなというふうに聞いていました。

資料の98ページです。QRコードや、そしてアニメのこと、こういったところの教科書の使いやすさというところで光村図書出版に変わってきたのかなと受け止めました。全体を通して、各自が持つタブレット端末があると思うのですが、QRコードを読みに行くという活動をする

きに、このQRコードがどこにあるのかということも非常に大きな使い勝手というところで、要素ではないかというような調査報告が載っております。総合的に判断したときに、光村図書出版がオールマイティーでバランスが取れていると思います。光村図書出版に変えた決定的な根拠を、調査委員長は少しですけれども触れてはおります。

他市では、「光村図書出版がいいんじゃないか」という意見も出ております。ほかの市で東京書籍と光村図書出版と意見が割れたといったところで、ですので、光村図書出版が全く候補に挙がっていないという市はありませんでした。

では、英語は光村図書出版ということで採択させていただいてよろしいでしょうか。

委員

1つやはり、この間意見を言ったのですが、日本の先生が教えやすいテキストが選ばれてしまっているということが言えると思います。それはなぜかという、編集者にネイティブがほとんど入っておらず、日本の英語教育の専門家が光村図書出版の英語の教科書を編集しています。日本で英語を学んだ英語教育の専門家が、テキストを編集しますので、日本の先生が教えやすいものになります。ところが、本当はネイティブの人が入ってきて教科書を編んだほうが、子どもたちはスムーズに英会話のほうに進んでいくことができます。そういう点で光村図書出版は、教科書は物すごく劣っていると思います。古い発想でこの英語のテキストが選ばれたこと、私は非常に残念だと思います。

教育長

英語教育の在り方というところも、今後論議していく必要があるかなと思います。

委員

調査委員会がしっかりとそれも込みで考えて選んだのかどうかというのは少し疑問に思います。

教育長

光村図書出版は、自分のこと→地域→日本→世界というふうに視野が広がっていくような設定ということは言っていますが、話し方というところについては、それは調査報告にはなかったです。

委員

前も言いましたが、QRコードで調べると、ネイティブの子どもたちの会話がすぐ耳に入ってくるのか、という事に関してほかのテキストもやってみたのですが、なっていました。ただ、日本人が話しているのと全然違いましたので、それで耳が本当に変わってくると思います。そういう点はしっかりと調べる必要があるなと思います。というのも、日本

の英語教育はものすごく遅れています。韓国や中国、台湾の小さい子どもの方が英語教育ははるかに進んでいますので、その辺りを学校の先生はもう少し考えてほしいなと思います。

教育長

そのことについては、来年度の中学校の英語の教科書のことにも通じてくるかなと思いますので、またその辺りは注意をして見ていきたいと思います。

では、英語については光村図書出版ということで採択をしてよろしいでしょうか。

それでは、次は最後です。道徳科であります。道徳科につきましては変更なしの日本文教出版というところで、これについては、私も委員も異議なしというところかなと思っています。これは学習会のときにも言いましたが、日本文教出版は、教材と関連した情報がたくさんあり、問題解決型だなと思います。ですので、価値を押しつけるということではなく、自分がどういうところにいてどういうふうを考えてという、対話がしやすい教科書になっているな、というところで日本文教出版を推していました。調査委員会とは一致したなと思っています。

道徳科については、日本文教出版ということで採択させていただいてよろしいでしょうか。

それでは、最終ですが、特別支援学級、小学校、中学校合わせて、これは一般図書です。小学校については社会科1冊、それから外国語1冊が新たに選定をされました。129ページ、130ページが小学校です。そして147ページ、中学校、社会科2冊と理科1冊ということで、これについては一般図書の選定ということで、こちらのほうを採択してよろしいでしょうか。

それでは、前回協議会のほうで調査委員長から報告があつて選定された教科用図書、全て湖南省教育委員会も採択するという結論で承諾をしていただきました。ありがとうございました。

事務局

皆様、どうもありがとうございました。その他案件等は特にございませんので、これで令和5年第2回湖南省臨時教育委員会を閉会します。お疲れさまでした。

閉会 午後4時09分